

播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会（第1回）議事録

開催日時	令和5年7月4日（火） 午後1時30分～午後3時10分
開催場所	播磨町役場第1庁舎 3階BC会議室
出席委員	(14名)
事務局	(5名)
協議事項	(1) 第10次播磨町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について (2) 計画策定のためのアンケート調査結果報告について (3) 播磨町高齢者福祉計画（第9次）及び介護保険事業計画（第8期） の実施状況
会議資料	第1回播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会次第 資料1 委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 第10次播磨町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について 資料4 播磨町 調査結果報告書（抜粋） 資料5 播磨町高齢者福祉計画（第9次）及び介護保険事業計画（第8期） の実施状況 資料6 播磨町 策定委員会スケジュール（案）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	1. 開会 2. 播磨町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会の設置について 3. 委嘱状の交付
佐伯町長	4. 町長あいさつ <p>皆さま、改めましてお忙しい中、ご来庁いただきまして本当にありがとうございます。感謝申し上げます。並びに平素は播磨町行政において各方面でご活躍いただき、そしてご指導いただいておりますこと重ねてお礼申し上げたいと思います。本当にいつもありがとうございます。</p> <p>私もこの担当をさせていただいております、ちょうど5期前です。ついこの間だと思っていたのですが、あっという間に15年経ちまして、今となっておりますが、ついに団塊の世代が75歳を迎えるピークの2025年が近づいてまいりました。</p> <p>この機にぜひ播磨町で何が必要なのかというのを改めて皆さんのご意見をいただき、ご協議いただいた上で決めさせていただきたいと思います。</p> <p>団塊ジュニアと言われる私たちが50歳。65歳になる次の5期後は、すぐ来ることとなりますので、まずは団塊世代の75歳のピークを迎える2025年に向けての今回の計画、皆さんのお知恵をいただきまして播磨町の今後の行政、ぜひ定めていきたいと思っております。</p> <p>結びになりますが、本日、ご出席の皆さまの今後のご健勝、ご多幸、そしてこの会が実りのあるものになり、素晴らしい計画ができることをご祈念申し上げます。本当にいつもありがとうございます。</p>
事務局	5. 委員の紹介 6. 会長・副会長の選出 7. 会長あいさつ 8. 協議事項 <p>(1) 第10次播磨町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について「資料3」「資料6」により説明（事務局） 質問・意見なし</p> <p>(2) 計画策定のためのアンケート調査結果報告について「資料4」により説明（事務局）</p>
委員	転倒した場所はどこか分かりますか。自宅、道路、建物の外とか。
事務局	詳細は分かりません。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>かなり重要だと思います。自宅なら自宅の改善で済むし、道であれば道の凸凹を直すということにつながると思います。</p> <p>抽象的になるかもしれませんが、18 ページ、公的サービス以外の支援の充実と書いてありますが、具体的にどういうことでしょうか。もし具体的に分かれば、事業計画に取り込んでいけるような内容も含まれているのではないかと思います。これもあまりにも抽象的すぎると思います。</p> <p>ニーズ調査を見ると色々な項目が入っているので、それが全て含まれていると考えればいいのでしょうか。例えば、26 ページ、将来についてということですが、実際に今、困っているから必要なことがあればいいということも含まれているのでしょうか。</p> <p>18 ページの項目は多いですが、抽象的すぎて公的サービス以外何でも欲しいと。極端に言えば、そんな感じにもなってしまうような気がします。以上です。</p>
委員	<p>先ほどの話と一部重複するかもしれませんが、初めての参加なので、これからの進み具合やこれから予定されている審議内容に出てくるかもしれません。その場合は大変申し訳ありません。</p> <p>こういう実態調査をして、まとめていただいているのは非常に重要だと思いますし、やる価値は非常にあると思います。細かく見ていくと色々な問題が分かってくると思います。出てきた問題に対して、どうすればいいのかというのは誰が考えるのか。この場なのか。問題をほっておくと来年もほぼ同じ数字ですよね。それを誰がやるのかなと、ちょっと疑問に思ったので質問させていただきました。</p>
事務局	<p>確かにアンケートでは色々な問題が出てきました。この後の会議の中で骨子や素案ということで形にしますが、事務局だけの案ではなく、地域の皆さんでどんなことが出来るかというご意見をいただきながら、計画を作っていきたいと考えています。</p>
会長	<p>具体的には先ほどの認知症の高齢者の公的サービス以外の支援の充実ということで、意見を皆さんで挙げていただいて、具体的にこういうものが必要じゃないか。公的サービスに移せるのではないかという議論をしていただいて、実現可能なものがこの場で決まっていくという形になります。</p> <p>自分の周りで困っておられる方が全体的なアンケートで分かってくると思いますが、実際に播磨町で起こっていることを、皆さんの周りで起こっていることをこの場で挙げていただきたいと思っております。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	(3) 播磨町高齢者福祉計画(第9次)及び介護保険事業計画(第8期)の実施状況について「資料5」により説明
委員	ボランティア活動への参加について。 例えば、ある方が介護の資格を取ってボランティア活動をしたいとなった時に、役所ではどこに高齢者がおられるか個人情報の関係で教えてもらうことができません。それを解消する方法はありますか。私たちの経験では、地元の民生委員・児童委員の方をお願いして一緒に活動に参加してもらいましたが、こういう活動の中に民生委員・児童委員の方を巻き込んでもいいのでしょうか。
事務局	社会福祉協議会にボランティアセンターというものがありますので、ボランティアをしたいという人はまず登録をしてもらい、自分はこういう活動ができますということを伝えていただいて、もし助けてほしいという方がいたら、ボランティアセンターでマッチングをされるということになります。
委員	もっと気軽にできないでしょうか。
会長	個人的に行きたいということですか。
委員	個人的というわけではなくて、近所の人のごみ出しのお手伝いをするとなると極めて個人的なボランティアになりますね。お手伝いをしたいけれども、どうしていいか分からない人がいるわけです。そういうことは自治体で分かるのかもしれませんが、もっと積極的に知ろうと思ったら自治会であれば、民生委員・児童委員の方に相談するしかないわけですね。わざわざそれを社会福祉協議会まで上げてするのか。敷居が高いと参加する人もいないと思いますが、その辺が気になりました。
事務局	それこそ地域の支え合いということですよ。地域の人が地域で出来ることを助けるためにどこへ行ったら困っている人がいるかを教えてもらえるかということですね。
委員	例えば、自分たちの自治会である会員の方から、自治会費を払っているのにほっとかれていて何も接触がないと言われました。役員で相談をして、高齢者の方に赤飯と紅白まんじゅうを配ろうということになりました。その時に高齢者の情報をどこで手に入れるかといったら、役場は教えてくれないわけです。 結局、われわれは民生委員の方をお願いして、仕事外かも分かりませんが、どこにおられますかと確認して、自治会の方が配ったらびっくりされるから普

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>段コンタクトを取っている民生委員・児童委員と一緒に回りました。</p> <p>そういうやり方ができるかどうか。私の自治会は、そういう風にしたからできましたが、それをもっと広くこのようなやり方も知らせてもらって、ただ社会福祉協議会に言えばいいということなら、ちょっとそれは敷居が高すぎるような気がします。</p> <p>A委員さんのところは、うまく地域で困りごとの相談に乗っておられますがどうですか。</p>
委員	<p>そうですね。私は野添地区の宮ノ裏自治会ですが、その自治会の中に「はなみずき」というもともとは高齢者見守りサービスをする団体があり、私もその「はなみずき」に入りました。</p> <p>他の自治会さんもそうだと思いますが、自治会の中のある一定範囲で、班長さんが必ず1人いて、その方に「はなみずき」のことを周知しています。</p> <p>この団体は何をするかという、高齢者に限らずお住まいの方の色々な問題を警察や救急など専門的なものは外して、例えば、「ゴミが出せない、足が悪くてびんが出せない、粗大ゴミが出せない、家具を移動したいけど重くて動かさない」といった困ったことを隣保長さん、班長さんを通じて「はなみずき」に上げてもらって、「はなみずき」で、あそこにこういう問題があるみたいなどと話し合っています。その問題を我々が解決するのではなく、「この方がこういうことで困っていらっしゃるよ」と、その方のご近所さんに声を掛けて、「はなみずき」も行くので、一緒に手伝ってもらってもいいですかということで活動しています。</p> <p>昭和の、私たちの子どもの頃は誰もが声を掛け合うのは当たり前だと思っています。今は見えない高い壁ができてしまって、なかなか申し訳なくて言えないというのを取っ払うために、どんどんそういう活動を私たちの地区ではやっています。</p> <p>この間も私のほうに「はなみずき」のチラシを見て電話が掛かってきました。「夫婦ともに足が悪いので、びんを出そうと思っても出せなくてたまってしまう。こんなお願いって出来ますか」と言われたので、いいですよ。私は片手で持てる量でしたが、その困りごとをご近所さんや隣保の方に対して、皆さんでちょっと気にして声を掛けてくださいとポストに入れさせてもらいました。それ以降は声を掛けてくれるようになったというのもあります。</p> <p>こういう活動を我々は今やっています。</p>
事務局	<p>その時、個人情報相手を相手の方は気にされますか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>一応、聞きます。例えば、夏場によくあるのですが、庭の木が大きくなった、草がいっぱい生えてとても刈れないという相談があります。それでまず我々は、ご近所さんと一緒にやらせてもらってもいいですかと聞きます。10人いたら9人がいいですよと言われますが、やっぱり中には言わないで欲しいという方もいます。その辺は個人のお気持ちを尊重させてもらってやっています。</p> <p>今まで依頼があった中で1人だけでしたので、割合としてはかなり少ないと感じています。</p>
委員	<p>非常に貴重な考え方ですね。こういう形で動くのが私も一番いいと思います。自治会では堅苦しいという方もおられます。こんな活動が普及すれば、ごみ出しの問題は解消すると思います。</p> <p>個人情報に関しては、私は防災士の研修を受けに行った時、100軒ぐらいの住宅地の方が言われていましたが、そこは全部知っていますと。どこに寝ているかも。洪水でも助けに行かなくてもいいというところまで決めていると言われました。そこまでいなくても、自分の子どもの頃だったら、どこに年寄りかいてということが分かっていたのが、できなくなっているのです。</p> <p>今回の計画の中で何か簡単な、今のご意見を参考にしてできたらいいなと思いましたので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>先ほど報告のあった資料の三角が付いているところに関して、最初のほうにあった住民全体の介護予防活動の支援というところで、ボランティアの自主的運営に指導者がいないということで実質的にはグループにならなかったということや、あとは報告の中の三角が付いているところで疑問に思ったのが、養成講座の発信はどのような方法でされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>主には広報です。</p>
委員	<p>例えば、今私は野添コミセン区でいろいろな活動をしている中で『広報はりま』の中にコミセン便りというのをに入れていて、そこにいろいろな情報を入れています。主にはイベントを載せていますが、今の悩みはほとんど見られない。スルーされているということで、目に留まるようにとQRコードを入れたりしていますが、でもやっぱり一番直接的に伝わるのが、面と向かって話をするというのが一番伝えやすいです。でもその都度行くのは大変だと思います。</p> <p>ですから例えばですが、年に1回だけ播磨町全体の自治会長が集まる連合自治会長会がありますが、各自治会にいきいき推進委員さんや健康安全委員さんがいると思います。例えば、その方に年に2回集まってもらってこういう問題がありますよと。こういうことをやっていますよというのをお話しして、各自</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>皆さんの自治会に持って帰って、一度話をしてみてくださいとか、あとはちょっとお手間掛けるかもしれませんが、各コミセンでも自治会長が集まっての会合が年に何回かあると思うので、1回でも行ってこういう問題があります、こういうことをやっていますというのを発信するのも一つの手かなと。</p> <p>あとは中学生のボランティアが結構います。教育委員会に問い合わせてみたいといけないかもしれませんが、中学校1年生、2年生、3年生のどこかの時間に播磨町の現状はこうですよ。こんなことに困っているよ。でも君たちはこんなことができるよというお話をしたら、中学生の頃からボランティアということに関してすごく前向きな生徒もいますので、ちょっと広がっていくのではないかなと。</p> <p>大人ばかりではなく、中学生からこういう教育をしていくことによって、ボランティアをすることが当たり前という世の中に播磨町がなっていくかもしれませんので、そういうふうなやり方もあるのではと思いました。</p> <p>良いご意見ありがとうございます。色々な調整が必要ですが、直接話をしたほうが、話が伝わるというのであれば、大事なことはそのような場に行かせていただいて、説明させていただこうと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>それに関して、ボランティアを頼みっぱなしではなく、ボランティア保険のようなものを町が負担して、委嘱となると大事になるかもしれませんが、ボランティアを頼んでいるわけですが、何があったら後ろには役場がありますよとかたちにしたらもっと参加しやすくなるのではないかと思います。</p> <p>自治会でも溝掃除をする時は保険に入っていて、それを使ったこともあります。逆に中学生にしたら、責任感を持ってもらえてうまくいくような気がします。だからボランティアというのは、あなたたちただでやってというのではなくて、人手が足りなくてお願いしているのだから、自助公助の関係にもなると思いますが、それも考えていただけたらいいかなと思います。</p>
事務局	<p>保険についてですが、ボランティアにもいろんなボランティアがあるので、どのような活動を対象にするのか、課題として持ち帰らせていただきます。</p>
委員	<p>14ページの地域ケア会議のところですが、その中で地域課題等々がたくさん出ていると思います。その部分と福祉計画のつながりを教えていただきたいと思います。</p> <p>もう1点が21ページの災害の部分ですが、個別の計画を進められていると思いますが、行政の方から災害時にケアマネジャーに求めることとといいますか、プランがあってサービスがあると思いますので、行政の方がイメージされてい</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>るケアマネジャーの動きというのがもしあれば、今すぐではなくてもいいですが、教えていただけたらと思います。</p> <p>最後の1点が認知症の方に向けての公的サービス以外の支援はどのようなものがありますかというところで、ケアマネジャーに関してのアンケートだったと思いますので、ケアマネジャーの集まりは100人ぐらいの集まりですが、どのような考えがありますかといった問い掛けがもし必要でしたら、問い掛けていただいて少しでも力になればと思いました。以上です。</p> <p>ケア会議に関して、昨年度は高齢者の耳の聞こえ、難聴について検討しました。今後、制度としてどこまでできるか分かりませんが、高齢者の問題としては検討が必要かなと思っています。</p> <p>災害時の個別支援計画に関しては、今内部で検討をしているところです。今まで、障害者福祉が中心になっていたもので、現在、高齢部分についてはもうちょっと詳しい話し合いが行われているところです。ある程度、話し合いが進んでくれば計画の中に入れさせていただきたいと思っています。その際にはケアマネ協会にも協力していただきたいと思っています。</p>
事務局	<p>9. その他</p> <p>10. 閉会</p>